

パーソナルコンピューター等データ消去業務委託仕様書

1 件名

パーソナルコンピューター等データ消去業務委託

2 概要

本仕様書は、パーソナルコンピューター等におけるデータ消去業務の委託に関するものである。

3 業務期間

契約締結日から令和7年12月19日（金）まで（契約期間についても、契約締結日から令和7年12月19日（金）まで）。ただし、「6 業務内容」に記載のデータ消去証明書の発行を除く項目については、11月28日（金）までに実施すること。

※ 土曜日、日曜日、祝日及び休日並びに平日の午前8時30分以前及び午後5時15分以降を除く。

4 業務場所

阿賀野市役所3階電算室（阿賀野市岡山町10番15号）

※ オンサイトでの実施とする。

5 対象機器・台数

別紙のとおり

6 業務内容

- (1) パソコン及びサーバの機器からHDDを取り出すこと。
- (2) データ消去の方法は、専用機器による機能破壊とし、対象のHDDの1～4か所を加圧変形又は穿孔すること。
- (3) サーバ装置のHDDについては、ソフト消去（Purge 消去）を実施した後に機能破壊を行うこと。
- (4) ソフト消去については、ADEC（データ適正消去実行証明協議会）の消去プロセス認定を最高位で受けているツールを使用して実施すること。
- (5) 機能破壊前後の対象のHDD1台ずつの外観写真を撮影すること。
- (6) 対象のHDDを取り出すために、パソコン等を分解した場合は、元の状態に戻すこと。なお、取り出したHDDは戻さなくてよい。
- (7) データ消去を行ったことを証明するデータ消去証明書（Purge 消去及び機能破壊の作業報告書）を発行すること。証明書には、証明事項として「消去日、消去場所、消去方法、消去品目（パソコン及びハードディスクのシリアルナンバーを含む。）、作業担当者」を記載すること。また、(5)の写真も添

付すること。

7 成果物

提出書類	提出時期	部数
データ消去証明書	業務完了の日まで	1 部
業務完了届	業務完了と同時に	1 部

8 その他

- (1) 受注者はプライバシーマーク又は ISMS (JIS Q 27001) を取得していること。
- (2) 作業者はパソコン及びサーバの保守資格（メーカーの社内制度の保守資格。例として「富士通認定資格」。ただし、メーカーは特定しない。）を有すること。
- (3) 対象機器について、作業場所から許可のない持ち出しは行わないこと。
- (4) 受注者は、業務の全部又は一部を第三者に委託し、又は請け負わせることができる。その場合、事前に発注者に申し出ること。なお、再委託先についても、(1)の要件を満たすこと。
- (5) 業務に当たり、疑義が生じたとき又は本仕様書に記載のない内容については、発注者と受注者とが協議して対応する。